

商業高校での損保教育を本格展開！

～『消費者目線＋ビジネス目線』で授業実践校数が約 3 倍に～

日本損害保険協会関東支部（委員長：中西 貴志・損害保険ジャパン株式会社 常務執行役員）は、これまで高校生の損保リテラシー向上のため、高校の家庭科・公民科の教員の方々に向けて、教材「明るい未来へ TRY！」（※）の授業での活用を呼びかけてきました。

※ そんぽ学習ナビ「明るい未来へ TRY！」 <https://www.sonpo.or.jp/education/high/>

商業高校では、高校卒業後に社会に出て損害保険に携わる生徒が一定数いることから、より実学に近い授業が行われています。そのため、授業で民間保険についてより深く理解することが将来様々な場面で役立つと考え、昨年度から商業高校で損保教育の授業の実践を呼びかけてきました。

商業高校へ授業実践を呼びかけるにあたり、公益財団法人全国商業高等学校協会から、「商業科向けには『消費者目線』での損害保険教育に加え、事業者の『ビジネス目線』のポイントを加えた方がより生徒に効果的である」とのアドバイス踏まえ、講義用の説明資料に事業者向け損害保険の内容を盛り込む等して授業の充実を図りました。また、5 月 25 日（月）に開催された全国商業学校長会第 156 回春季総会でも、同協会事務局から当協会の「明るい未来へ TRY！」の教材活用についてご説明いただきました。

今年度から研究会に加え校長会での教材説明も積極的に行った結果、実践校数は昨年度同時期 8 校の実施に対して、今年度は 26 校と約 3 倍の実績を積みあげることができました。

10 月 6 日（火）は千葉県立銚子商業高校（3 年生、230 名、科目：「特別授業」）、10 月 7 日（水）には東京都立第五商業高校（2 年生、219 名、科目：「ビジネスアイデア」）からの要請に応じて OB 講師を派遣して授業を行い、学習効果が高いことを確認することができました（以下ご参照）。

【生徒からの感想】	【担当教員からのコメント】
・大人になって独り暮らしをする際には必要な保険に入ろうと思いました。 ・法律についても勉強になり、法学の分野にも興味を持ちました。 ・何事にもリスクが伴うことを知ることができました。 ・リスクを知ることによってそれを回避することもできると思いました。 ・冊子を元に家族とも話をし、リスクと保険について家族と一緒に考えていきたいと思います。	・ビジネスプランコンテストなどでアイデアを出すだけではなく、そこに内在するリスクやそれに対する備え、生徒自身の生活と結びつけた学びにつながった。 ・生徒の将来に役立つ内容であり、良かった。教員にも損害保険を学ぶ良い機会となった。 ・ビジネス基礎やビジネス法規との親和性があるため、今年度はビジネス法規で活用したい。

当支部では、引続き授業内容の向上を図っていくとともに、商業高校の教員の方々が自ら本教材を活用して授業実践が行われるように各種サポートを行うとともに、教育関係団体や商業高校等と連携して、高校生の損保リテラシー向上に係る活動を推進してまいります。



千葉県立銚子商業高校での授業の様子



東京都立第五商業高校での授業の様子